

「福島コシ」に栄冠

【静岡】日本一おいしい米を選ぶ「お米日本一コンテスト」(静岡県主催)が22日までの3日間、静岡市で開かれた。全国40都道府県から396点(昨年39道府県、315点)28品種の米が出品され、最優秀賞には福島県の只浦義弘さんが出品した「コシヒカリ」が輝いた。

このコンテストは「全国お米まつりinしずおか2007」のメインイベント。今回

静岡でお米コンテスト 只浦さんが日本一

が4回目で、過去最高の出品があった。

審査は、栽培履歴などの書類審査と食味機器審査で上位30点を選び、日本穀物検定協会職員や米・食味鑑定士、お米マイスター、消費者代表の15人が試食して行った。

表彰式は12月17日、JA静岡経済連主催の生産者大会(静岡市)で行う。また、会場では入賞した米で作ったおむすびの試食もする。

そのほかの入賞者は次の通り。▽優秀賞Ⅱ川場村雪ほかか生産組合前支部(群馬県)天恵農場おきたま自然農業研究会(山形県)▽優良賞Ⅱ(有米工房たかた・須藤良蔵(山形県)植木武夫(茨城県)(有ライスサービスたかはし(宮城県)▽品種賞Ⅱ(有ライスサービスたかはし(同)▽静岡県知事賞ⅡJA御殿場部農会・瀬戸孝雄(静岡県)。



▲
全国から集まった自慢の米の味を確かめる審査員(22日、静岡市駿河区で)